

第 270 回液体クロマトグラフィー研究懇談会

- 主催** (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会
- 期 日** 2013 年 12 月 16 日(月)13:00~17:00
- 会 場** オルガノ株式会社 東京都江東区新砂 1-2-8 電話:03-5635-5191
交通:東京メトロ東西線「東陽町駅」下車(3 番出口)徒歩 7 分
- 開催趣旨** 分析化学の進歩により、食品中の化学物質の存在が次々と注目されている。食品の品質管理においては、懸念物質や有用物質を科学的に評価する事が必要である。そのためには、化学物質を正確に定量するための分析技術が必要である。本例会では、食品のリスク管理の考え方、それを支える分析技術についてご講演頂きます。
- 講演主題** 食品の品質管理とそれを支える分析技術
- 講 演**
- 講演主題概説(オーガナイザー) (13:00~13:10)
(ハウス食品グループ本社(株)) 神山 和夫
1. 「食品安全に関するリスク管理と分析法への期待」 (13:10~13:40)
(農林水産省) 浮穴 学宗
2. 「食品の加熱生成物の分析法と低減技術」 (13:40~14:10)
(ハウス食品グループ本社(株)) 神山 和夫
3. 「食用油脂中の 3-MCPD 脂肪酸エステルの新規分析法」 (14:10~14:40)
(不二製油(株)) 津村 和伸
- 休憩(14:40~15:00)
4. 「LC/ICP-MS による食品中の有害金属の分析」 (15:00~15:30)
(アジレント・テクノロジー(株)) 熊谷 浩樹
5. 「食品中懸念物質の最新分析技術」 (15:30~16:00)
(日本ウォーターズ(株)) 米久保 淳
6. 「LC-TOF-MS の食品分析への活用」 (16:00~16:30)
(アサヒグループホールディングス(株)) 望月 直樹
7. 総括「食品の品質管理とそれを支える分析技術」 (16:30~17:00)
(東京理科大学薬学部) 中村 洋
- 参加費** LC 研究懇談会会員:1,000 円, 協賛学会会員(日本分析化学会、日本薬学会、日本化学会):3,000 円, その他:4,000 円, 学生:100 円(参加費は当日申し受けます)
- 情報交換会** 講演終了後、講師を囲んで交流会を開催します(会費 4,000 円)。希望者は必ず事前にお申し込みください(参加費は当日申し受けます)。
- 申込締切日** 開催日の 5 日前(土休日を含まず)までにお申し込みください。
- 申込方法** 参加希望者は、氏名、勤務先(電話番号)、LC 会員・協賛学会会員・その他の別及び情報交換会参加の有無を明記のうえ、FAX または E-mail により下記あてにお申送ください。参加証は発行いたしませんので、直接会場にお越しください。(定員締切後の申込につきましては後日ご連絡します)。
- 申 込 先** 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304 号
社団法人 日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会
(電話:03-3490-3351, FAX:03-3490-3572, E-mail:kondankai-hp@jsac.or.jp)